



令和5年3月7日14時00分
九頭竜川ダム統合管理事務所

まながわ
真名川ダムからフラッシュ放流を行います
～ダムから毎秒 200 立方メートルを放流～

真名川ダムでは、ダム下流の河川環境の改善を目的に、フラッシュ放流を実施します。ダムからの放流により下流の真名川では、水位が 1.5m 程度上昇します。放流はサイレンによる警報および巡視により、事前にお知らせしますので、すみやかに川から上がるよう、ご協力をお願いします。

1. 放流日時と真名川の水位への影響

- ・放流日時 : 令和5年3月14日(火) 7時(放流開始)～18時(放流終了)を予定。
 - ・放流量 : 11時頃に最大放流量 毎秒200立方メートルに到達、以降、毎秒200立方メートルを 6時間継続して放流終了。
 - ・真名川の水位 :
 - 佐開橋(大野市五条方付近)では 12時頃に 最大1.5m の水位上昇を想定。
 - 富田大橋(大野市中保付近)では 13時半頃に 最大1.2m の水位上昇を想定。
- 河川の水位上昇に注意して下さい。

2. フラッシュ放流とは

流水の変化が少ない期間が長く続くと、川底や石に付着した藻類の育ちが悪くなるとともに汚れなどが付着したままとなり、河川環境に悪影響を及ぼします。これら真名川の河川環境改善のために、河川流量を増やす放流です。

<取扱い>

<配布場所>

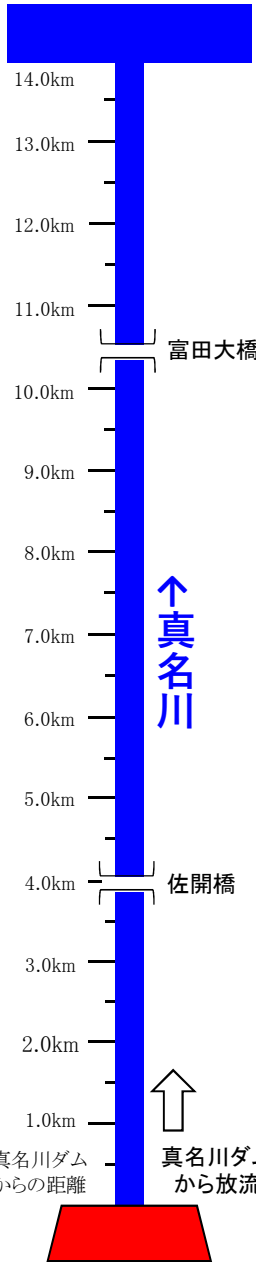
福井県政記者クラブ
大野市政記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
管理課長 福岡 浩史 (内線331)
電話:0779-66-5300 (代表)

真名川の水位変化想定

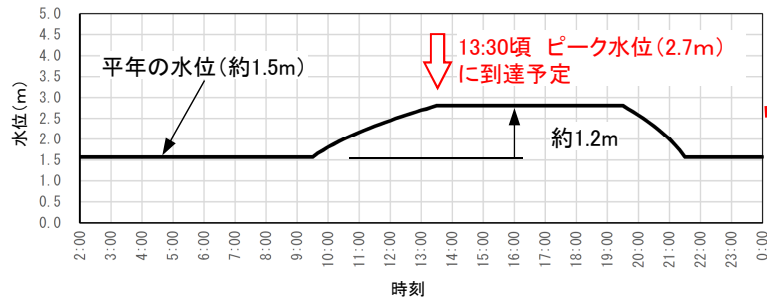
←九頭竜川



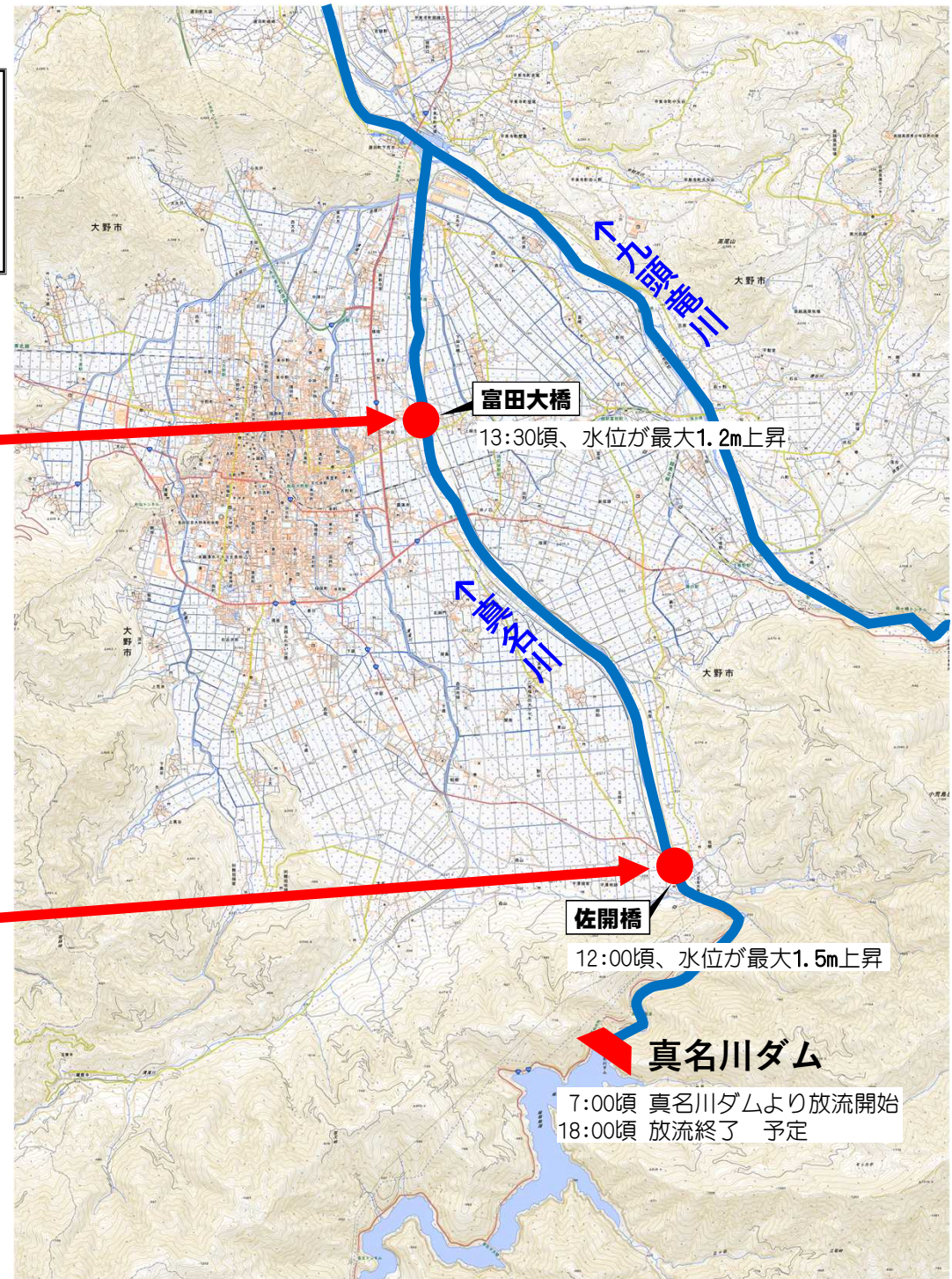
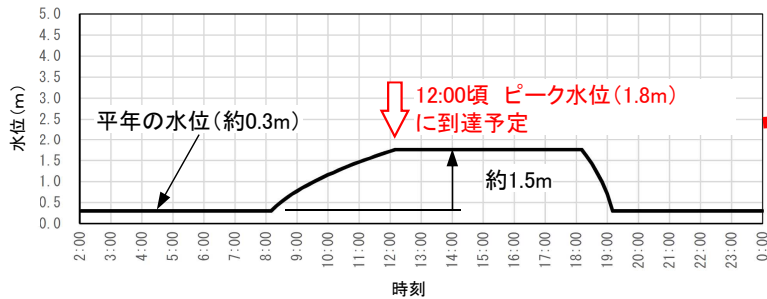
ダムからの放流により下流の真名川では、水位が1.5m程度増加します。

放流はサイレンによる警報および巡視により、事前にお知らせしますので、すみかやかに川から上がるよう、ご協力をお願いします。

富田大橋(大野市中保付近)の水位変化(想定)



佐開橋(大野市五条方付近)の水位変化(想定)



※実際の水位、到達時間は想定と異なる場合がありますので注意してください。

【参考】

①フラッシュ放流を実施する背景

近年、治水および利水安全度の向上のみならず、河川が有する多様な生態系や変化に富んだ景観と調和した河川整備が求められるようになってきました。

国土交通省では「うるおいのある水辺空間の創出」、「清らかで豊かな水量・水質の確保」、「自然豊かな水系環境の形成」および「健全な水循環系の確保」などの施策が実施されてきました。

平成9年に改定された河川法では、河川管理の目的として、従来の「治水」と「利水」に加え、新たに「河川環境の整備と保全」が位置づけられ、「河川における良好な自然環境の保全を積極的に推進すること」とされているところです。

ダム下流の河川環境の保全等を目的とし、洪水調節容量の一部に流水を貯留し、これを使用して放流(フラッシュ放流)する運用を「弾力的管理」といいます。

②クリーンエネルギー

国土交通省では、インフラ分野におけるクリーンエネルギーの導入・利用拡大の取り組みとして、ダムの運用改善等による水力エネルギーの創出促進を目指しています。

「弾力的管理」により、通常より多く貯留した水を発電に活用することで、発電時 CO2 を排出しない水力発電(クリーンエネルギー)の増電に貢献します。